※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1008 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | ビジュアルデザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインの基礎的な知識への理解を深め、基本的な技能を身に付けさせる。
生徒の個性を伸ばし、豊かに表現する力を身に付けさせる。
デザイン分野への理解を深め、身の回りのデザインや進路への関心へとつなげる。

## ２　学習の到達目標

ビジュアルデザインの基礎的知識を理解し、基本的な技術を身に付ける。
デザインや色彩の働きについて考え、主題を基に個性豊かに発想し、構想を練り表現する力を身に付ける。
美術の創造的な諸活動の良さを感じ、主体的に取り組もうとする。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ビジュアルデザインの基礎的な知識や色彩の効果について理解を深めている。<br><br>表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 | ビジュアルデザインとしての表現の意図と創造的な工夫、デザインの働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、デザインに対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術やデザインの創造的な諸活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | デザインの基礎 | ・色彩学演習<br>・デザイン構成の用語学習 | a:「知」デザインや色彩についての効果や用語を理解している。<br><br>b:「鑑」デザインや色彩の表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。<br><br>c: | ワークシート | ワークシート | ワークシート |
| | 色彩基礎表現 | ・アクリルガッシュを用いた色彩の基礎演習 | a:「技」デザインや色彩の効果を理解し、表現方法を創意工夫して個性豊かで創造的に表している。<br><br>b:<br><br>c: | ワークシート<br>活動の様子 | ワークシート<br>活動の様子 | ワークシート<br>活動の様子 |
| | トーンを用いた色彩表現 | ・トーンが与える感情効果を利用した四季の色彩表現 | a:「技」デザインや色彩の効果を理解し、表現方法を創意工夫して個性豊かで創造的に表している。<br><br>b:「発」伝えたい情報に合わせた効果を考え、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。<br><br>c:「態表」デザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。<br>「態鑑」デザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>活動の様子 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 鑑賞レポート | ・枚方市内高校合同美術展鑑賞レポート<br>・大阪府高校展鑑賞レポート | a:「知」形や素材、色彩などの効果を基に、さまざまな作品のイメージや作風などを捉えることを理解している。<br>b:「鑑」さまざまな作品のよさや美しさについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。<br>c:「態鑑」さまざまな作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 | 鑑賞レポート | 鑑賞レポート | 鑑賞レポート |
| | イメージからの色彩構成 | | a:「知」デザインの形や色彩、厚生などの効果捉えることを理解している。<br>「技」イメージを効果的に伝えるためのデザインの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。<br>b:「発」デザインの効果や工夫について考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。<br>「鑑」主題に沿ったデザインの効果や工夫、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて様々な視点から考え、見方や感じ方を深めている。<br>c:「態表」イメージを効果的に伝えるためのデザインの創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。<br>「態鑑」イメージを効果的に伝えるためにデザインの鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>活動の様子 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 鑑賞レポート | 芸文祭コンクール展鑑賞レポート | a:「知」形や素材、色彩などの効果を基に、さまざまな作品のイメージや作風などを捉えることを理解している。<br>b:「鑑」さまざまな作品のよさや美しさについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。<br>c:「態鑑」さまざまな作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 | 鑑賞レポート | 鑑賞レポート | 鑑賞レポート |
| | ピクトグラムのデザイン | | a:「知」形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。<br>「技」伝達の目的や条件などに合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。<br>b:「発」伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。<br>「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。<br>c:「態表」目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。<br>「態鑑情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>作品<br>活動の様子 | ワークシート<br>活動の様子 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度